

NEW AGE MEDICINE



2024
01
vol.12

Japanese College of Intravenous Therapy



点滴療法研究会

2023年 年次活動報告

点滴・栄養療法 症例報告

高濃度ビタミンC点滴が奏功した2症例

医療法人仁善会 理事長 田中 善先生

マイヤーズカクテル・グルタチオン点滴
及び栄養療法が奏功した2症例

鎌倉元氣クリニック 院長 松村 浩道先生

副会長就任のご報告

米国抗加齢医学会(A4M)総会 参加レポート

森永歯科医院 院長 森永 宏喜先生

2024年セミナー一年間予定

CONTENTS

02 / ご挨拶

03 / 点滴療法研究会 2023 年活動報告

ボードメンバー紹介

2023 年 国内活動

2023 年 海外活動

10 / 副会長就任のご報告

11 / 点滴・栄養療法 医学情報

高濃度ビタミンC 点滴療法が奏効した2 症例

医療法人仁善会 田中クリニック 理事長 田中 善先生

新型コロナウイルスワクチン後遺症に対して

マイヤーズカクテル・グルタチオン点滴及び栄養療法が奏効した2 症例

鎌倉元氣クリニック 院長 松村 浩道先生

16 / 最新海外情報

Pick Up News

米国抗加齢医学会 (A4M)2023 総会 参加レポート

森永歯科医院 院長 森永 宏喜先生

22 / 柳澤 厚生先生 医学情報

ビタミン・ミネラル点滴の定番「マイヤーズカクテル」

23 / 点滴療法研究会からのご案内

認定医制度

点滴療法導入から定着への3つのステップ

会員サービス紹介

27 / 2024年セミナー年間予定

29 / 協賛企業のご紹介

点滴療法研究会とは

点滴療法研究会マスターズクラブとは、最新のエビデンスに基づいた点滴療法を提供する医師・歯科医師・獣医師を会員とするグループです。会員は患者様が安全に治療を受けられるよう常に技術を磨いています。

最新知見の
収集

学びの提供

安全で効果的な
点滴療法を日本の医療の
スタンダードに

会員ネットワーク
構築

一般認知
拡大



The Japanese College of Intravenous Therapy

点滴療法研究会

2023年活動報告



会長
柳澤 厚生
Atsuo Yanagisawa MD, FJCIIT
点滴療法研究会マスターズクラブ 会長

統合医療の
トップランナーに

ご挨拶

予防医療の
プロフェッショナル
として科学的挑戦に
立ち向かう



事務局長
上符 正志
Masashi Uwabu MD
銀座上符メディカルクリニック 院長

点滴療法研究会は、欧米の統合医療クリニックに広く普及している点滴療法や栄養療法を国民に提供する医師・歯科医師・獣医師のグループとして、「点滴療法研究会マスターズクラブ」を設立し、国民に点滴療法を安全かつ効果的に提供するための体制を整え、全国の会員ネットワークを構築しています。

点滴療法研究会マスターズクラブの会員数は1,000名を超え、日本の統合医療を牽引する団体であると言っても過言ではない組織となりました。皆様方のご愛顧の賜物とひとえに感謝申し上げます。

昨年は、コロナに対する状況が変わりつつあり、長いトンネルの先によくやく光を見出せたような気がしました。当会でもオンライン配信のセミナーの良い面を残しつつ、リアルでのセミナー開催へとシフトしていきました。リアルで互いの温度を感じながら情報を共有できる素晴らしさに改めて感動を覚えています。今年も引き続き新しいがん治療や先端医療において、有益な情報を積極的に発信して参る所存でございます。

今後も皆様統合医療のトップランナーとして輝けるよう、「リベラルメディスン」を提唱し、これまで同様、リベラルな研究会として会員諸氏のご支援を賜りながら共に歩んで参りたいと思います。

2024年は、権力や隆盛の象徴である辰年です。皆様の行動が大きく良い方向に動く年になるよう心から願っております。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。2024年が皆様にとって、希望に満ち、科学の進歩によって更なる成果が得られる年であることをお祈りいたします。

我々、点滴療法研究会は、新しい年においても抗加齢治療という未知の領域への探求を続けます。科学の進歩により、不老不死への挑戦がより具体的なものとなり、その幕が本格的に開けつつあります。抗加齢治療の研究は、細胞の老化プロセスや遺伝子の制御メカニズムの解明など、多岐にわたり、細胞の老化を劇的に遅らせ、健康寿命を延ばす知識が探求されています。この取り組みは、私たちが老化に伴う病気や健康問題に対してより効果的にアプローチし、患者様の生活の質を向上させる可能性を秘めています。同時に、不老不死への挑戦は、医学の未来において新たな可能性を切り開くものとなります。最先端の予防医学情報を駆使し、健康で充実した人生を追求するために、私たちは未知の領域に果敢に挑む覚悟です。

この未知の科学的挑戦に立ち向かう中で、私たち予防医療のプロフェッショナルは協力し合い、新たな発想や治療法の発見に向けて一丸となって取り組んでいきたいと思います。これからの点滴療法研究会の先生方の御活躍を大いに期待しております。

新年が、抗加齢治療や不老不死への科学的な挑戦が進展する一年となりますよう、心よりお祈りしております。どうぞよろしくお願ひいたします。

BOARD MEMBER

国内



事務局長
上符 正志
銀座上符メディカル
クリニック 院長



名誉顧問
阿部 博幸
東京キャンサークリニック
理事長



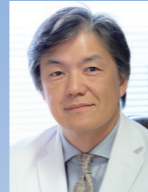
名誉顧問
森 吉臣
東京予防医療クリニック
院長



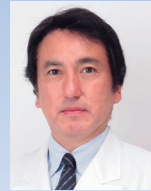
名誉顧問
水上 治
健康増進クリニック
院長



名誉顧問
芝田 乃丞
株式会社スピック
前会長



名誉顧問
澤登 雅一
三番町ごきげん
クリニック 院長



古山 登隆
自由が丘クリニック
理事長



高島 正広
高島クリニック
院長



平良 茂
ハートフルクリニック
院長



日比野 佐和子
Y&Sサイエンスクリニック
広尾 統括院長



菅野 渉平
IVC分析センター
指導監督医



田中 善
田中クリニック
理事長・院長



喜多村 邦弘
喜多村クリニック
院長



廣田 順子
アリスどうぶつクリニック・どうぶつ
統合医療センター 院長



森永 宏喜
森永歯科医院
院長



松村 浩道
鎌倉元氣クリニック
院長



姫野 友美
ひめのもみクリニック
理事長

海外



イリエス・バグリ
(アメリカ)
アルジェリアオーソモレキュラー
医学会会長



バートン・パークソン
(アメリカ)
ニューメキシコ統合医療
センター所長



アイリーン・バーフォード=メイソン
(カナダ)
元トント総合病院コンナハ
頭頸がん研究部部長



スティーブン・カーター
(カナダ)
国際オーソモレキュラー
医学会事務局長



ダミアン・ダウニング
(イギリス)
英国環境生物医学会
会長



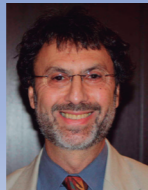
ジェームズ・グリーンブラット
(アメリカ)
ウォルデン行動医療病院
摂食障害部門部長



ロナルド・ハニハイキ
(アメリカ)
リオルダン・クリニック
所長



ステープ・ヒッキー
(イギリス)
オーソモレキュラー-医学
学会編集委員



ジョン・ホフナー
(カナダ)
マギル大学
内科教授



トーマス・レヴィ
(アメリカ)
リオルダンクリニック
コンサルタント



劉 輝雄
(台湾)
インベリアルクリニック
院長



ロベルト・オルティス
(メキシコ)
メキシコオーソモレキュラー
医学会会長



ニール・リオルダン
(アメリカ)
ステムセル研究所
所長



アンドリュー・W・ソウル
(アメリカ)
オーソモレキュラー-医学
ニュース編集長



ガート・E・シュートメーカー
(オランダ)
前・国際オーソモレキュラー
医学会会長
医学雑誌ORTHO 編集長



フランク・シャムバーガー
(アメリカ)
米国オン療法学会
会長



ウェルマン・シュレーダー
(アメリカ)
サンクアアレルギー
環境医療センター所長



ブラッドフォード・ウィークス
(アメリカ)
ウィークス・クリニック 院長

2023年国内活動

- 1月 29日 [東京] 新春特別セミナー
「～専門家が徹底解説～ 新型コロナ後遺症とワクチン後遺症
医療現場で今すぐできる最新治療」
- 2月 26日 [東京] ベーシックセミナー I
- 3月 19日 [東京] 春の特別セミナー
「～明日から臨床現場に導入できる～ 最強のアンチエイジング医学」
- 26日 [神奈川県] 点滴療法の基本実技講習会（入門編）
「もうはずさない！血管確保の実際」
- 4月 16日 [京都] ベーシックセミナー I / 関西フォーラム
- 5月 14日 [東京] ベーシックセミナー II
- 21日 [東京] 歯科診療で導入したい点滴療法・栄養療法
- 6月 25日 [WEB] 【会員限定】オゾン療法認定医講習会 / 試験
- 7月 9日 [東京] スペシャル ベーシックセミナー I
- 30日 [WEB] 【会員限定】キレーション療法認定医
講習会 / 試験
- 8月 27日 [神奈川県] 点滴療法の基本実技講習会（入門編）
「もうはずさない！血管確保の実際」
- 9月 10日 [東京] 秋の特別セミナー
「～不定愁訴で終わらせない～統合医療で考える後遺症問題
医療現場で今すぐできる最新治療」
- 10月 22日 [東京] ベーシックセミナー I
- 23日 [東京] ベーシックセミナー II
- 11月 19日 [東京] 歯科診療で導入したい点滴療法・栄養療法
- 12月 3日 [東京] 【会員限定】高濃度ビタミン C 点滴療法
認定医講習会 / 試験
- 10日 [神奈川県] 点滴療法の基本実技講習会（入門編）
「もうはずさない！血管確保の実際」
- 通年 [WEB] どうぶつへの点滴療法・栄養療法を臨床から学ぶ



▲新春特別セミナー講師の先生方と



▲春の特別セミナー



▲関西フォーラム



▲スペシャルベーシックセミナー I
特別講師：東京女子医科大学 名誉教授
川島 眞先生（写真中央）



▲秋の特別セミナー
特別講師：北里大学 教授
花木 秀明先生（写真中央）



▲歯科セミナーの講師陣



▲実技講習会の様子

国内活動報告

今年度は、会場開催およびWEB開催で、年間19回のセミナーを開催いたしました。

▶ 1月 新春特別セミナー 専門家が徹底解説 「新型コロナ後遺症とワクチン後遺症 医療現場で今すぐできる最新治療」

社会問題となっている“後遺症問題”。コロナと共に生きる時代において、医師として何が出来るのか。今すぐできる治療法を専門家の先生方に徹底解説していただきました。セミナー終了後のディスカッションは活発に交わされ、後遺症に悩む患者様を抱えている先生方にとってとても有意義なセミナーとなりました。



▲左から、中村先生、吉野先生、井上先生、柳澤会長



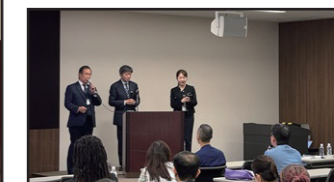
＼リニューアル／

▶ 5月・10月 ベーシックセミナーII

Detox・IGG、栄養療法、プラセンタ、にんにく注射、αリポ酸など、自費診療に導入したいメニューに加え、オゾン療法、幹細胞培養上清、エクソソーム、NMNなど、最新の点滴療法と関連する栄養療法を実践的に学ぶセミナーとしてリニューアル。また、集患、スタッフ教育、経営の秘訣など、自費診療クリニック運営に役立つ内容も加わり、充実した内容のセミナーとなりました。



◀左から、柳澤会長、上符先生、増田先生



▶ 3月 春の特別セミナー 明日から臨床に導入できる 「最強のアンチエイジング医学」

近年注目度が特に高く、アンケートでご要望が多かったNMN点滴、幹細胞培養上清療法、ホルモン療法、ファスティングに加え、医療経営まで非常に幅広く充実した内容を各分野のエキスパートである5名の先生方にご公演いただきました。講演は非常に具体的で実践的な内容でした。参加者は100名近く、展示ブースも24社と大盛況のセミナーとなりました。



▲左から、宇野先生、上符先生、青木先生、高須先生、柳澤会長



＜特別講師＞
自治医科大学形成外科
教授
吉村 浩太郎先生

＼リニューアル／

▶ 5月・11月 歯科診療で導入したい点滴療法・栄養療法

点滴療法・栄養療法を導入する歯科クリニックがおさえておくべきポイントを、医学的にも法的にもご理解いただくことを目的にしたセミナーを開催しました。

臨床現場で実際導入しているメニューや症例、プロトコル、導入前の準備や集患、スタッフ教育、製剤なども含め、環境整備についての情報なども惜しみなく公開し、解説していただきました。



◀左から、柳澤会長、加藤先生、森永先生

▶ 4月(関西) 地方フォーラム

地方フォーラムを関西の京都にて開催しました。行動制限がなくなった久々のフォーラム。約80名の先生にご参加いただきました。

柳澤会長および関西地方の点滴療法研究会会員の先生を中心に、5名の医師・歯科医師による講演と情報交換を行いました。がん治療からアンチエイジング、歯科診療への導入など臨床現場で実践されている点滴療法のテーマを詳しく学ぶ充実したフォーラムになりました。



▲左から、並河先生、柳澤会長、田中先生、石黒先生、河合先生、山口先生、喜多村先生

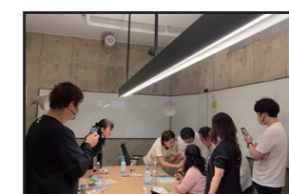


▲懇親会

▶ 3月・8月・10月 基本実技講習会(入門編)

鎌倉のクリニックにて、人気の「基本実技講習会(入門編)」を年3回開催いたしました。通常の座学のセミナーとは異なり、8名限定での開催です。

実際に参加者同士で血管確保の練習を行い、点滴製剤の作り方から穿刺までポイントとコツも学べる充実の内容です。これから点滴療法を導入される先生はもちろんのこと、既に点滴療法を実践されている先生にも、とても人気の講習会です。



▲講習会の様子▶



国内活動報告

▶ 7月 スペシャルベーシックセミナー

通常のベーシックセミナーの内容に加え、基調講演に特別講師として東京女子医科大学 名誉教授の川島眞先生をお迎えし、光老化の正しい予防法として「光老化を防ぐために必要なスキンケア、サプリ」についてご講演いただきました。

3大点滴療法のアップデートや点滴手技動画、ランチョンセミナーなど盛り沢山の内容で開催したセミナーは、100名以上の先生方にご参加いただきました。



<特別講師>
東京女子医科大学
名誉教授
川島 眞先生



▶ 9月 秋の特別セミナー 不定愁訴で終わらせない 「統合医療で考える後遺症問題」 医療現場で今すぐできる最新治療

新型コロナ・ワクチン後遺症対策の前線で活躍される先生方にご講演いただき、後遺症問題について、改めて考えるきっかけとなる有意義なセミナーとなりました。

特別講師として、イベルメクチンでノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智先生(北里大学特別名誉教授)の意を継ぎ、COVID-19対策北里プロジェクトの代表責任者として活躍されている花木秀明先生にもご登壇いただきました。



<特別講師>
北里大学教授
花木 秀明先生



▶ 通年 どうぶつへの点滴療法・栄養療法を臨床から学ぶ

どうぶつへの高濃度ビタミンC、マイヤーズカクテル点滴療法その他、CBDオイルの基礎と使い方、様々な病気の予防や治療に活用できるオーソモレキュラー療法を詳しく学べるセミナーは、獣医師の先生のみならず、どうぶつを家族にもつ、医師・歯科医師の先生にも人気です。

講師は臨床現場で点滴療法・栄養療法を幅広く実践されている、当会ボードメンバーのアリスどうぶつクリニック院長の廣田順子先生です。



<講師>
アリスどうぶつクリニック
院長 廣田 順子 先生

海外活動報告

2023

多くの海外の学会が会場とWEBで開催され、点滴療法研究会は、様々な情報発信・情報収集を行いました。

2月

フィリピン

第1回フィリピンオーソモレキュラー医学会

110年の歴史のあるザ・マニラホテルにてフィリピンオーソモレキュラー医学会の記念すべき第1回学術大会が開催されました。

会長は、統合医療によるがん治療を専門とするクリニックの院長、ホーマー・リム先生。本学会に参加された柳澤会長は、オーソモレキュラー医学の歴史に始まり、新型コロナウイルス感染の感染予防と重症化予防のための栄養療法、さらにコロナ後遺症とワクチン接種後遺症について、治療の基本的な考えから具体的な治療の提案まで、持論を交えて解説されました。



6月

ブラジル

第52回国際オーソモレキュラー医学会総会

6月1日から3日にブラジルのサンパウロ市にあるコンベンションセンターで第52回国際オーソモレキュラー医学会が開催されました。今回は第34回ブラジルオーソモレキュラー医学会との共同開催となり、学会には2,000人以上、出展企業ブースも80社以上と大盛況の学会となりました。

国際オーソモレキュラー医学会会長として柳澤会長が開会の挨拶をされ、続いてブラジルオーソモレキュラー医学会のエフレイン・オルセーヴァー博士が開会を宣言。柳澤会長は、「オーソモレキュラー栄養療法によるコロナ後遺症とワクチン後遺症の治療」についてご講演され、会場内は終始立ち見をする方が出たほどの盛況ぶりの様子でした。

本医学会にて10年間、国際オーソモレキュラー医学会会長を務められた柳澤会長から、新会長として、アルジェリアのバグリー博士(点滴療法研究会マスターズクラブボードメンバー)にオーソモレキュラー医学のさらなる発展を託し、バトンが渡されました。



イギリス

Better Way Conference

イギリスのバースにて開催された World Council for Health 主催の Better Way Conference のパネルディスカッションで柳澤会長が登壇されました。本会議では、イベルメクチンの推進、コロナワクチン接種被害の問題、5G、そして人間が健康である権利と自由をいかにして守るかについて話し合われました。柳澤会長は国際オーソモレキュラー医学会を代表し、原発事故からコロナのパネミックまでの栄養療法と人間の身体の治療システムについて話されました。



海外活動報告

2023

多くの海外の学会が会場とWEBで開催され、点滴療法研究会は、様々な情報発信・情報収集を行いました。

11月

WEB

World Council for Health Asia 第1回シンポジウム

ワールドカウンシルフォーヘルスのアジア地区6カ国の専門家によるシンポジウム「伝統医療、自然療法、革新的な医学による健康の回復」が開催されました。点滴療法研究会からは柳澤会長が「コロナ後遺症とワクチン後遺症のオーソモレキュラー栄養療法」、会員の佐々木みのり先生（大阪肛門科診所 副院長）が「日本におけるm-RNAワクチン後遺症の治療」について講演をしました。

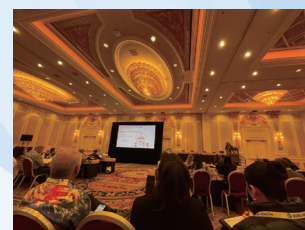
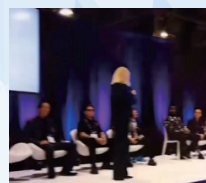


12月

アメリカ合衆国

第31回米国抗加齢医学会 (A4M) 総会

12月14日～3日間、アメリカ合衆国ネバダ州のラスベガスにて世界最大のアンチエイジング医学、米国抗加齢医学会 (A4M) 総会に柳澤会長が参加されました。他に当会の会員の先生方もご参加され、最先端のアンチエイジング医学を学ばれました。A4M "Longevity Fest 2023"は、「IKIGAI、TSUNAGARI」をテーマに、ミトコンドリア、ペプチド、腸内細菌叢等、100名以上の医学講師がご講演されました。参加者数述べ約20,000名、600社以上の企業出展や多数の催し物もあり、盛大に開催されました。現地の様子は後述にてご紹介させていただきます。2024年は12月13日～15日に開催予定です。



現地の様子を一部ご紹介

点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長就任のご報告

お陰様をもちまして、点滴療法研究会マスターズクラブは、会員数1,000名を超える大きな団体となりました。年間のセミナー参加者数も1,000名を超え、これからも多くの先生が診療の幅を広げる選択肢として点滴療法を導入されると期待します。

そこで、本年より副会長の職を設け、私推薦の元、当会会員のリーダーとして会を牽引していただく2名の先生方にご就任いただきましたのでご報告申し上げます。

各先生方の点滴療法における専門性を活かし、会に貢献していただけることを期待します。

会員の皆様におかれましては、このたび就任いたしました松村先生、森永先生を温かくお迎えしていただけますと幸いです。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

点滴療法研究会マスターズクラブ
会長 柳澤 厚生

松村浩道先生が副会長に就任いたしました。



松村 浩道
鎌倉元氣クリニック 院長

このたびは点滴療法研究会副会長という大役を仰せつかり、身に余る光栄とともに重責に身の引き締まる思いですが、「患者さん本位の医療」にチャレンジし続ける尊敬すべき会友諸氏にとって、少しでも有益な情報を発信すべく更なる精進を重ねる所存です。当会が昨年中に1000人を超える会員数を迎えたことは、先生方のご支援の賜物に他なりません、異なる分野の専門家たちが互いに学び合い成長する貴重な場であることもその一助になっていると感じます。こうした会の特性をより活かせるよう、横の繋がりをさらに強固にしていくことに微力ながら尽力したいと考えております。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

松村先生 略歴

日本医科大学卒業。同大学付属病院麻酔科学教室、関東通信病院(現NTT東日本関東病院)ペインクリニック、医療法人誠之会氏家病院麻酔科・精神科等を経て2017年10月よりスピッククリニック(鎌倉元氣クリニック)院長。全人的な医療を志す過程で東洋医学、精神医学、温泉医学、オーソモレキュラー医学や補完代替医療の研鑽を深め、現在は心身相関・腸内環境を重視した包括的診療を行うほか、産業医としてストレスマネジメントや予防医療にも力を注いでいる。

<資格・役職>

ペインクリニック専門医・認定産業医・温泉療法医、日本医療・環境オゾン学会副会長・同臨床研究部会長
点滴療法研究会ボードメンバー、米国ストレス研究所日本支部代表、一般社団法人日本レジリエンス医学研究所代表理事、一般社団法人メンタルウェルネストレーニング協会顧問

<著作>

「対人関係のイライラは医学的に9割解消できる」(マイナビ新書)、「脳腸相関で未病を征す」(七星出版)

森永宏喜先生が副会長に就任いたしました。



森永 宏喜
森永歯科医院 院長

点滴療法研究会マスターズクラブ会員の先生方、このたび副会長をお引き受けすることになりました歯科医師の森永宏喜です。

ボードメンバーを拝命して約5年が過ぎましたが、職責を果たしているだろうかと常に気がかりでした。ですから今回、会長から打診を受けた時には非常に驚き「私に務まるものだろうか」と不安に感じたのが正直なところです。ですが当会の提唱する「Liberal Medicine」のビジョンを医療界に普及させることに微力でも関わることが出来ればと思ひ直し、決断致した次第です。松村副会長と協力しながら、柳澤会長、ボードメンバーの先生方、事務局の皆様、そしてもちろん会員の先生方のご指導ご鞭撻を頂戴しつつ、務めてまいる所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

森永先生 略歴

1963年千葉県生まれ、1988年東北大学歯学部卒業。東京医科歯科大学口腔外科に勤務、口腔がんや顎変形症手術、歯科心身症など一般歯科の範囲を超えた治療に取り組む。総合病院歯科を経て1992年より千葉県銚南町の歯科医院を継承。2012年、オーソモレキュラー療法を知り「治療中心の歯科医療」から「栄養を科学する予防・アンチエイジング歯科」にシフトすることを目指す。

<資格・役職>

オーソモレキュラー・デンタル代表、米国アンチエイジング医学会(A4M)認定医(歯科医師として日本初)、日本アンチエイジング歯科学会常任理事・認定医、日本抗加齢医学会専門医。

<著書>

「歯周病はすぐに治しなさい」「すべての病氣は口の中から」(さくら舎)、「歯科から始めるアンチエイジング栄養学」(デンタルダイヤモンド社)など。

高濃度ビタミンC点滴療法が奏功した2症例



医療法人仁善会
田中クリニック 理事長

田中 善 先生

鳥取大学 医学部医学科 卒業。
医学博士(大阪大学)。
大阪大学 第一内科(腎臓内科)、大阪厚生年金病院 腎臓内科
医長を経て、
医療法人仁善会田中クリニック 理事長に就任。
日本内科学会認定内科医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本透
析医学会透析専門医、
日本医師会認定産業医、健康スポーツ医。
点滴療法研究会ボードメンバー
(一財)腸内フローラ移植臨床研究会代表理事
(一社)日本先制臨床医学会理事
(一社)日本オーソモレキュラー医学会理事
(一社)老化制御医学会理事
(一社)日本臨床培養上清研究会理事

はじめに

今まで点滴療法研究会会報誌において、高濃度ビタミンC点滴療法を行い良好に経過した症例をいくつか掲載していただきましたが、さらに最近の経過良好の症例を提示いたします。
点滴療法研究会会員の皆様の診療の一助になれば幸いです。

症例1 T.N. 37歳 女性 診断:乳癌

2018年 左乳癌と診断(stage0)。乳房全摘術施行、術後ホルモン剤(ノルバデックス)服用。非浸潤性乳管癌、リンパ節転移なし、ホルモン感受性陽性、HER2(2+)。

2020年 CA15-3上昇。
2月 CTC検査:5.6cells/7.5ml、CD133・CD44・OKT-4(幹細胞マーカー)陽性、c-MET陰性。

2020年 多発肺転移、骨転移(左腸骨)、局所皮下再発(摘出術施行)、stage IVと診断。ページニオ、フェソロデックス、ランマーク、リュープリン投与。

2020年 免疫療法(樹状細胞ワクチン、NKT細胞療法、活性化リンパ球療法)施行
5~8月

2021年 免疫細胞療法、高濃度ビタミンC点滴療法(IVC25g)開始。
5~12月
9月 PETの集積増加。
10月 10月からゼローダ、ランマーク投与。

2022年 当院受診:頑固な便秘、牛乳は大好き。
1月 中学校教員。子ども3人。

2022年 高濃度ビタミンC点滴療法開始(IVC60g)
2月~ 腸内フローラバランス検査施行。

2022年 腸内フローラ移植(糞便微生物移植)施行(6回)。移植後の腸内フローラバランス検査:獲得免疫系の増強、メンタルの安定という腸内フローラに変化。

2022年 CA15-3:20.4(←25.1)
6月

2022年 便秘はましに。
7月 8月CA15-3:16.8と低下。

2022年 元気になり、便秘はあるがガスがあまり
11月 出なくなった。

2022年 調子が良いが、手足症候群がひどく
12月 なっている（抗がん剤の副作用）。

2023年 職場復帰（公認心理士試験合格）
3月

2023年 CA15-3:23.5、CEA：正常範囲
5月

2023年 PET：肺転移、腸骨転移は不変。
6月 ゼロータ継続。

現在 職場復帰し仕事、生活ともに順調に経過している。定期的にIVCを受けている。

【評価】

肺転移、骨転移は完全に消失したわけではありませんが、進行もせず、**職場復帰が可能となり、QOLは非常に高く維持されています。**

症例2 A.I. 72歳 男性

診断：悪性リンパ腫（濾胞性リンパ腫）

2020年 人間ドックのPET検査により、脊椎、
9月 坐骨、肋骨、胸骨、頸部リンパ節、腹部リンパ節、脾臓に集積を認め、悪性リンパ腫（濾胞性リンパ腫）と診断。その後、無治療で経過観察。

2022年 左腋窩リンパ節腫大（5cm）のため切
3月 除術施行。

2022年 IL-2R：1059
4月

2023年 高濃度ビタミンC点滴療法開始
2月 （IVC75g週2回で維持）。
一時、右頸部リンパ節腫大傾向にあったが、4月から縮小傾向になった。

2023年 PET検査で増悪傾向にあったので、
4月 6月から抗がん剤予定であった（IL-2R:777）。

2023年 IL-2R:599となり、抗がん剤は投与し
6月 なかった。



2023年 IL-2R:727とやや上昇。
7月

2023年 抗がん剤をせずに済んだため、スイス
8月 に旅行に行き楽しんだ。

2023年 IL-2R:623と再び低下。
9月 患者のQOLは全く低下せず、**2週に1回のIVC75g**で経過観察をしている。

【評価】

抗がん剤を当初からできるだけ避け、免疫療法を希望して当院を受診されましたが、当院では悪性リンパ腫に対するIVCの効果が良好であることを経験していましたので、まずIVCから行いました。この症例も、**現在のところIVCで経過良好で抗がん剤もせずにQOLも良好に維持されています。**

まとめ

2021年、2022年の当院の年間初診がん患者数は2020年以前より倍増しています。相対的に比較的若年齢層（50歳代以下）が増加傾向にあります。また進行した症例も多く急速な悪化傾向が観られる症例も増加傾向にあります。この原因に関しては早晩科学的検索により明らかになるものと期待しています。

当院ではほぼすべてのがん患者さんにIVCをまずお勧めし、他の治療（抗癌剤などの標準治療を含めて）を併用する場合でも**IVCを基本治療として行うようにしています。**副作用のない抗がん剤として、**正常細胞環境を整えるためにも、IVCは必須です。**胸水、腹水などの体液貯留傾向のある患者さん以外マイナス面はほぼありません。積極的なIVCの活用をお勧めします。

新型コロナワクチン後遺症に対して マイヤーズカクテル・グルタチオン点滴及び 栄養療法が奏効した2症例



鎌倉元氣クリニック 院長

松村 浩道 先生

日本医科大学卒業。同大学付属病院麻酔科学教室、関東通信病院（現NTT東日本関東病院）ペインクリニック科、医療法人誠之会氏家病院麻酔科・精神科等を経て2017年10月よりスピッククリニック（鎌倉元氣クリニック）院長。全人的な医療を志す過程で東洋医学、精神医学、温泉医学、オーソモレキュラー医学や補完代替医療の研鑽を深め、現在は心身相関・腸内環境を重視した包括的診療を行うほか、産業医としてストレスマネジメントや予防医療にも力を注いでいる。

<資格・役職>

ペインクリニック専門医・認定産業医・温泉療法医
日本医療・環境オゾン学会副会長・同臨床研究会会長
点滴療法研究会ボードメンバー
米国ストレス研究所日本支部代表
一般社団法人日本レジリエンス医学研究所代表理事
一般社団法人メンタルウェルネストレーニング協会顧問

<著作>

「対人関係のイライラは医学的に9割解消できる」(マイナビ新書)
「脳腸相関で未病を征す」(七星出版)

はじめに

COVID-19の世界的流行の後、現在は人類と同感染症との共存のフェーズに入ったといわれる一方で、COVID-19罹患後症状（いわゆる「Long COVID」）やワクチン接種後の健康被害が臨床の現場において問題となっている。前者については、厚生労働省が「罹患後症状のマネジメント（第3.0版）」という手引き書を作成するなど積極的な対策がなされている反面、後者については具体的な対策どころか、存在そのものにすら目が向けられていない感がある。今回、新型コロナワクチン後遺症に対して、マイヤーズカクテル・グルタチオン点滴および栄養療法的アプローチが奏効した2症例を経験したので紹介したい。

症例1 15歳男性

2021年11月下旬に新型コロナワクチンを接種。接種直後には特に異常を認めなかったが、次第に全身倦怠感や頭痛、下痢などの諸症状が出現し、2022年3月からは通学できなくなったため当院受診。同年3月下旬よりマイヤーズ・カクテルおよびグルタチオン点滴（800mg）を週に1回のペースで開始した。また栄養解析に基づき、コエンザイムQ10、ビタミンC、L-グルタミン、L-シスチン、マグネシウム等を含有するサプリメントを処方した。同年4月よりカルニチン（200mg）を点滴に追加し治療を続けたところ症状は次第に改善し学校にも行けるようになったため、実施頻度を減らして治療を継続した。途中症状に波はあったものの、翌2023年1月下旬には点滴治療を終了、同3月には無事希望する高校に合格し元気に通学している。

症例2 51歳男性

2021年8月下旬および9月中旬に新型コロナワクチンを接種したところ、翌月より激しい頭痛が出現したため脳神経外科受診するも、特に異常所見を認めなかった。さらにその後、顔面や手足の麻痺症状が出現したため精査するも、いずれも原因不明であった。2022年4月都内某クリニックにて幹細胞療法を実施したところ、いったん諸症状が改善したものの同年11月に再燃したため同年12月当院受診となった。点滴療法として、マイヤーズカクテルおよびグルタチオン点滴 (600～

1000mg) を1～2週に1回のペースで実施した。また、栄養解析に基づきビタミンC、ビタミンD、亜鉛を処方、加えてイベルメクチン (9～12mg/日)、アサイゲルマニウム、CBDオイルを適宜ローテーション処方した。さらにその後他院で漢方煎じ薬が処方され、これらの治療により症状は次第に改善し、2023年6月には通常歩行が可能になり日常生活にもほぼ支障がなくなった。現在も2週に1回の頻度で治療を継続し症状は安定している。

考察

わが国における新型コロナワクチン接種率は世界的に見ても極めて高いといわれるが、その一方でワクチン後遺症についての対策はほとんどなされておらず、ワクチン後遺症自体がメディア等で取り上げられることも皆無に等しい。

そうした中、海外においては信頼できる治療プロトコルも策定されており、「The I-RECOVER-VAC Protocol¹⁾」はその代表である。同プロトコルには、ワクチン後遺症についての疫学、病因、さまざまな治療アプローチがまとめられており、諸先生方にはぜひご一読をお勧めしたい。詳細は割愛するが、病態の本質はスパイクタンパク質S1サブユニットによる炎症、免疫調整不全、微小血栓およびミトコンドリア機能障害などと考えられており、それらへの対応が治療の主体となる。

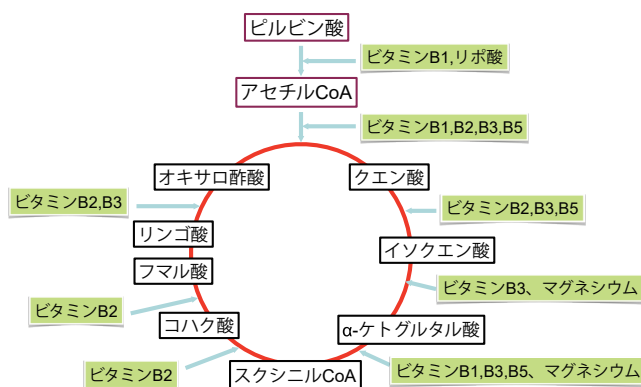
同プロトコルにはマイヤーズカクテルについての直接的な記載はないものの、同カクテルに含まれるビタミンCやマグネシウムの使用が推奨されているほか、TCA回路を回すために必要な栄養素 (図1) の多くがマイヤーズカクテルに含まれるこ

とから、ミトコンドリア機能障害に対しても有効である可能性がある。

またグルタチオンについては、同プロトコルでは点滴静注についての記載はみられないものの、経口摂取する場合には前駆体であるNアセチルシステインを推奨しているほか、アセチルグルタチオン、リポソーム型グルタチオンの有効性について言及している。

後遺症との関連で注目したいのが、高ホモシステイン血症とMTHFR (C677T) 遺伝子多型で、同プロトコルでもMTHFR遺伝子多型を保有するケースではリスクが高い可能性がある、と述べられている。実際に症例2においては同遺伝子検査にて変異を認めたが、このような場合にはメチル葉酸の供給不足からホモシステインが高値となる可能性があり、メチル葉酸やトリメチルグリシン (ベタイン) のほか、ビタミンB₆, B₁₂の処方が功を奏することがある。

図1 TCAサイクルに関わる栄養素



結語

マイヤーズカクテルおよびグルタチオン点滴は、いずれも非常に安全性が高い治療であることから、栄養療法とともに新型コロナワクチン後遺症に対して応用しやすい治療法であると考えられる。

1) <https://covid19criticalcare.com/protocol/i-recover-post-vaccine-treatment/>

サルベストロールプラチナム

Salvestrol® PLATINUM 2000

医療従事者向け資料



【内容量】1袋 (90粒入り)

【原材料】
タンジェリン抽出物 (オレンジを含む)、
ぶどう種子粉末、かぼちゃ粉末、米粉、
HPMC

天然成分サルベストロールを含有した メディカル・サプリメント

植物由来の天然成分サルベストロールを配合したサプリメント。人の体内で損傷を負った細胞の排除を助け、健康な体づくりをサポートします。現在では欧米諸国をはじめ、世界中の医療機関で導入されている医療機関専売サプリメントです。

POINT 1 植物由来の天然成分「サルベストロール」

POINT 2 損傷を負った細胞を体外へ排除する働き

POINT 3 にんじん約12,000本相当のサルベストロールを含有

POINT 4 国内約470の医療機関で導入



株式会社サルベストロールジャパン
〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿 1-23-13 アルカイビル4F
<https://www.salvestrol.co.jp/>

お問い合わせ先

☎ 03-6450-2406
✉ info@salvestrol.co.jp

資料請求はこちら▶



Food Allergy and Sensitivity Testing

フードアレルギーと過敏症検査

- ✓ 48, 120, 144, 240項目 ジャパニーズフードパネル
- ✓ わかりやすい日本語の検査レポート
- ✓ 個別ローテーションダイエットガイド付き

この度、遅延型フードアレルギーと過敏症研究会が発足し、同様の検査を導入している医師・歯科医師間で情報共有ができるウェブサイトを立ち上げました。遅延型フードアレルギーと過敏症検査についてより多くの方に知っていただくため、米国 US BioTek 社から情報提供を受け、Web 上でいつでも視聴可能な無料のオンラインセミナーも開催しています。日々の診療にお役立てください。

Online Seminar Program

オンラインセミナープログラム

- > 正確な検査結果を得るための抗体の定量検査
 - > 食品抗原に対するIgG、IgA、IgE の免疫反応の違いと臨床研究について
 - > IgG とIgA 食物過敏症検査を行って改善した症状 (症例と実践結果)
 - > IgG/IgA 反応の参考範囲と検査結果の解釈
 - > 食品の交差反応と免疫への負荷
 - > 食事の個別化の重要性 (食事のローテーションの組み方)
 - > 患者に抗体検査結果を理解してもらうために必要なコミュニケーション
 - > 炎症反応を抑えるために除去食と栄養療法を用いて胃腸の正常な構造や機能を再獲得する方法
 - > 再現性と信頼性の品質を保證するVeritek ラボプロセスについて
- など...



Dr. Masashi Uwabu

上符正志 医師

オンラインセミナー進行役
遅延型フードアレルギーと過敏症研究会
会長

銀座上符メディカルクリニック院長
米国抗加齢医学会専門医



Dr. Atsuo Yanagisawa

柳澤厚生 医師

遅延型フードアレルギーと
過敏症研究会副会長

鎌倉元氣クリニック名誉院長
国際オーソモレキュラー医学会会長



遅延型フードアレルギーと過敏症研究会に参加し、オンラインセミナーにアクセスするにはアカウントを作成する必要があります。QRコードを読み取るか、研究会事務局の株式会社First Health Japan までお問い合わせ下さい。



株式会社First Health Japan

TEL : 0463-20-9070

FAX : 0463-20-9071

info@fhjapan.co.jp

最新海外医学情報 PICK UP NEWS

ビタミンCがカギを握る!? 最新がん免疫療法『樹状細胞ワクチン療法』

樹状細胞は、がんの目印となる抗原を最初に体内で認識し、リンパ球に伝えてがん細胞を攻撃させる司令塔の役割を担っています。この樹状細胞にがん抗原をあらかじめ認識させ、体内に戻すことで、がんに対する特異的な免疫反応を誘引する最先端の免疫療法が『樹状細胞ワクチン療法』です。

この樹状細胞ワクチン療法において、ビタミンCが成否のカギを握る可能性が報告されています。ジョセップ・カレラス白血病研究所は、In vitroでビタミンCで樹状細胞を処理すると、主にDNAの脱メチル化によって免疫反応に関与する遺伝子の活性化が促進され、免疫原性を改善することを明らかにしました。

この発見は、樹状細胞ワクチン療法にビタミンC点滴を併用することで治療効果を増強させる可能性を示唆しています。

O. Morante-Palacios, et al. Vitamin C enhances NF-κB-driven epigenomic reprogramming and boosts the immunogenic properties of dendritic cells. *Nucleic Acids Research*, 2022



米国：乳幼児は特に注意！食事に含まれる重金属による健康被害

食用作物は、汚染された土壌・空気・水から重金属を吸収するため、鉛、ヒ素、カドミウムといった危険な重金属の痕跡が、米や野菜、豆・ナッツ等の一般的な食品に含まれています。有害重金属は様々な不定愁訴や疾患の原因になりうるということが知られていますが、2023年12月に新しく発表された論文で、米国民におけるこれら3つの重金属のがんおよびその他多様な疾患リスクへの影響が検証されました。またこの研究では、米国の生後6ヶ月から5歳までの乳幼児が、一般食品に含まれるカドミウムに最も多く暴露されていることを報告しています。乳幼児は、米、ホウレンソウ、オーツ麦、大麦、ジャガイモ、小麦などカドミウムを多く含む食材を常食しており、政府が設定した最大耐性量を超える暴露にさらされています。この傾向は、おそらく日本でも同様でしょう。

有害重金属の検査や、キレーション療法に関しては、当会のベーシックセミナーIIにて解説しています。ご興味のある方はぜひ受講をご検討ください。

Society for Risk Analysis. "Heavy metals in our food are most dangerous for kids." *ScienceDaily*. 12 Dec. 2023.

(本研究で報告された重金属3種の健康リスク)

重金属	由来	健康リスク (中～高程度)
鉛	古い塗料や水道管、汚染された土壌で育った根菜類など	・がん (肺、腎臓、膀胱、胃、脳腫瘍) ・その他 (造血、生殖、神経、腎臓、呼吸器への影響)
ヒ素	飲料水や米、小麦、薬物野菜、海藻など	・がん (皮膚、膀胱、肺、腎臓、肝臓) ・その他 (皮膚病変、心血管疾患、免疫学的、神経学的、生殖学的、免疫学的、腎臓への影響)
カドミウム	ナッツ類、ジャガイモ、種子、穀類、薬物野菜、タバコの煙など	・がん (前立腺、腎臓、膀胱、乳、膵臓、子宮内膜) ・その他 (腎臓、発育、生殖、免疫、神経への影響)

ビタミン、ミネラル、ファイトケミカルによるDNA修復効果

放射線や食物中の発がん物質、たばこ、環境中の化学物質、活性酸素等などによって、私たちの体では一日1細胞当たり1万から100万箇所のDNAが損傷を受け、老化や癌化の原因になっていると言われています。今年11月に発表されたレビューでは、約100件のランダム化比較試験と前向き研究を検証し、ヒトDNA損傷に対するビタミンやミネラルおよびファイトケミカル類による保護効果を調べています。レビューの結果、DNAの代謝と修復においては、葉酸、ビタミンB12、亜鉛といった栄養素、そして酸化ストレスと炎症の予防・改善においてはビタミンA、C、E、リコピン、クルクミン、プロアントシアニン、セレン、亜鉛といった栄養素の重要性が確認されました。特定の微量栄養素とその組み合わせのサプリメント (もしくは点滴) は、ゲノムの完全性の維持を改善することにより、DNA損傷を軽減し、細胞の健康を促進する可能性があると考えられています。がんなどの疾患予防を含むアンチエイジングにおいて、これらの多様な栄養素の重要性が再確認されました。



M. Fenech, et al. Protective Effects of Micronutrient Supplements, Phytochemicals and Phytochemical-Rich Beverages and Foods Against DNA Damage in Humans: A Systematic Review of Randomized Controlled Trials and Prospective Studies, *Advances in Nutrition*, Vol14-6, 2023

A4M Longevity Fest 2023

～テーマはIKIGAI、TSUNAGARI～



会場のSands Expo & Convention Centerのメインホール
2千人以上が収容できる広さ

2023年の締めくりに12月14～16日、ラスベガスで開催された米国アンチエイジング医学会（A4M）最大のカンファレンス「Longevity Fest 2023」に参加すべく渡米しました。新型コロナウイルス感染症流行による渡航制限が明けて、4年ぶりの合衆国です。

3日間を通して午前中はメインホールでのみセッションが開催、午後はテーマ別に4～5の会場に分かれます。午前にはじっくりと聴講し、午後はお目当てのレクチャーに参加すべく忙しく動き回る、といったところです。

そしてもう一必見なのが企業展示で、400社以上が出展しています。そこで得られる情報は全く耳にしたことのないもの、あるいは臨床応用が日本よりも遥かに進んでいるものなどもあり、それらが4～5年後に日本に導入されていくのを繰り返し見てきました。まさに「宝の山」といえるでしょう。

Opening RemarksはA4M学術担当のDr.Heymanです。今年の副題「Leveling Up Healthcare」に沿い、治療者としてどのように患者と関わるか、許し、感謝、寛大さ、承認などの概念と医療との関係を語る抽象的な内容が多く、理解に苦労しました。

もちろん他にもミトコンドリア機能制御なども強調されていましたので、これらの点を念頭に置いて聴講、情報収集を行っていきました。

The Blue Zones

毎年、その年のテーマに沿った数名のKeynote Speakerが招聘されますが、その一人がベストセラー「The Blue Zones」の著者Dan Buettnerでした。

〈ブルーゾーン〉とは百寿者が多く暮らす地域を指し、人生100年時代の「理想のライフスタイル」を実現している場所で、全米ベストセラーとなった同書には、沖縄を含む世界5大長寿地域それぞれの特徴的な食、身体活動、趣味嗜好などのライフスタイル、人生への考え方などが紹介されています。

イタリア・サルデーニャ島
アメリカ・カリフォルニア州ロマリンド
コスタリカ・ニコヤ半島
ギリシャ・イカリア島
日本・沖縄

5つのブルーゾーンに共通する、百寿者の健康と長寿の9項目の秘訣がまとめられました。

このうち、より重視されているのは後半の5つです。それらを科学的エビデンスでサポートしていくのがこれからのアンチエイジング医学ということ。私たちが目指すべき大きな目標を提示されたと感じました。今回のテーマをひと言でいえば「IKIGAI・TSUNAGARI」というところでしょう。

- ・適度な運動習慣
- ・腹八分
- ・植物性食品の摂取
- ・適度に赤ワインを飲む
- ・明確な目的意識「IKIGAI」
- ・人生をスローダウンする
- ・信仰心を持つ
- ・家族を最優先に
- ・人とつながる「TSUNAGARI」

・「IKIGAI」「TSUNAGARI」は日本語がそのまま使われているが、その概念はより深く、広い意味を有している
・沖縄に関しては近年健康寿命の悪化が指摘されているが、百寿者に関しては恐らく当てはまらないのと、5大長寿地域の制度が2012年であることが影響していると思われるが、さらなる改定を期待したい

興味深かったセッションをいくつかあげてみます。

口腔内フローラと全身の健康

自然療法医のDr.StrandによるMetabolic Syndrome & The Microbiome: Core Therapeutics for a Common Condition(メタボリックシンドロームとマイクロバイオーム:一般的な状況に対する中心的治療法)では、メタボという一般的な健康問題に対するコアとなる治療方法に焦点を当て、特に体内のマイクロバイオームのバランスを整えることがメタボの治療や予防に重要であると強調しています。

興味深いのは、腸内環境と口腔内フローラの関係が非常に重視されていた点です。使われていた図は私も度々引用しているものでしたのでなおさらでした。関連した製品群も企業展示されていて、多くの参加者(大部分が歯科以外)が訪れていました。口腔内環境は腸や中枢神経はもちろん、全身の健康維持に欠かせないという考え方は定着しているようです。

アッカーマンシアのサプリメント

A4Mには毎年、最新の尖った情報が集まります。「これからのトレンドはこれか」というものが必ずあり、その一つが腸内細菌のAkkermansia muciniphilaでした。日本でも注目されているこの菌のプロバイオティクスが登場したのです。

演者のDr.Fitzgeraldは豊富なデータを駆使して、アッカーマンシアがなぜKeystone Bacteriaなのか解説してくれました。口腔内でいえばP.gingivalisにあたるもので、その菌自体の働きだけでなく周囲の菌の状況にも決定的な役割を果たす存在なのです。

他の菌種と同じく「生菌がよいのか、低温殺菌された(pasteurized)ものがよいのか」という議論があり、それぞれの立場で製品が開発されていました。どのような目的で使うのかで選択が分れると思います。



タイ仏教在家指導者のAcharavadee Wongsakon師(左)の顕彰・講演も行われた。

A4M co-founderのDr.Goldman(右)は彼女の弟子だという

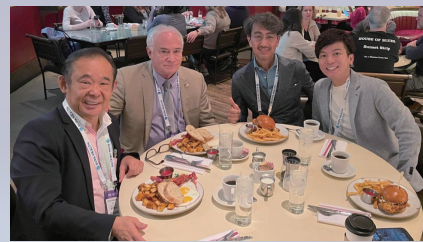


LEDを用いた全身用の光治療装置。アンチエイジングだけでなく癒傷治療、炎症の軽減などに役立つという。類似の機器が多数出展されていた。

もちろん、ここにあげたトピック以外にも非常に多くの情報が得られました。日本では色素や水槽の消毒などに使われるメチレンブルーにミトコンドリア機能強化、抗炎症、抗菌などの作用があり、すでにサプリメントが発売されていたり、美容分野では全身がすっぽり入るphototherapyの器機が多数展示されていたりしました。数年後には日本でもトレンドになるかも知れません。

今回のカンファレンスは、社会的存在としての心の持ち方、人生観、周囲との関係性などが以前より一層強調されました。もちろん科学的エビデンスを前提とした主張であり、その面での多くの最新情報も得ることができました。特定の物質が注目されるのではなく「NAD+ Boosters」を複合的にとり入れる、腸内環境の改善のために多方面からアプローチする、ということでしょう。

紙面の制約上、収集した情報のほんの一部しかお伝え出来ないのが残念ですが、非常に実りある3日間でした。2024年の会期は12月13日～15日、もちろんまた参加したいと思います。百聞は一見に如かず、是非一緒にいたしましょう!



セッションの合間を縫ってのランチミーティング。左から柳澤会長、当会国際ボードメンバーのDr.T.Levy、私、福岡県で開業の歯科会員・友枝 亮先生



執筆: 森永 宏喜先生

森永歯科医院院長
米国アンチエイジング医学会 認定歯科医師

1963年千葉県生まれ、1988年東北大学歯学部卒業。東京医科歯科大学口腔外科に勤務、口腔がんや顎変形症手術、歯科心身症など一般歯科の範囲を超えた治療に取り組む。総合病院歯科を経て1992年より千葉県銚南町の歯科医院を継承。2012年、オーソモレキュラー療法を知り「治療中心の歯科医療」から「栄養を科学する予防・アンチエイジング歯科」にシフトすることを目指す。

オーソモレキュラー・デンタル代表、米国アンチエイジング医学会(A4M)認定医(歯科医師として日本初)、日本アンチエイジング歯科学会常任理事・認定医、日本抗加齢医学会専門医。主な著書に『歯周病はすぐに治しなさい』『すべての病気は口の中から』(さくら舎)、『歯科から始めるアンチエイジング栄養学(デンタルダイヤモンド社)』など。

お家で手軽に学べる 点滴療法動画

柳澤会長が今更聞きにくい疑問点に動画でお答え！

動画サイトはこちら▶



※会員無料動画はログインは必要。

※マスターズクラブ会員は割引価格で動画の購入が可能。

無料 / 会員限定

点滴ワンポイント動画 (2~5分)



以外に時間のかかる抜針後の
圧迫止血のコツをご紹介します。



ビタミンC点滴になぜ蒸留水を使用するのかわかりやすく解説。



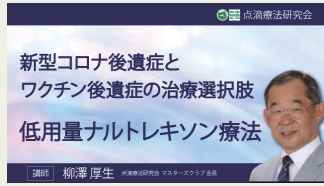
計測器が手元にない場合の測り方
をご紹介します。



血管通の原因と対策をわかりやすく
解説。



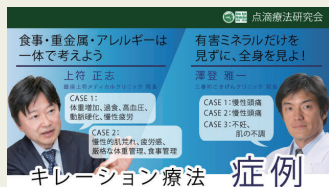
患者さんからの一番多い質問を柳澤
会長がわかりやすく解説。



根拠となる論文、作用機序から処方、
薬剤の入手方法まで。

有料

点滴療法 症例・活用動画

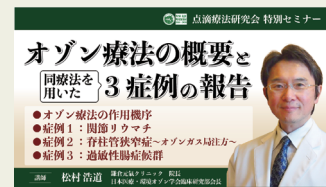


5症例 22分 3,300円



22分 10,000円

※パート1~2があります。



3症例 15分 3,300円

会員番号・パスワードをお忘れではないですか

無料動画の視聴・会員割引にはログインが必要です。会員番号がご不明な場合事務局までご連絡ください。パスワードはご自身で再発行が可能です。

会員番号のお問い合わせはこちら▼
点滴療法研究会事務局：info@iv-therapy.jp

パスワードの再発行は
こちら▶





血中水素飽和度2.0%が科学的に証明された水素吸入機

※慶應義塾大学医学部との共同研究/医学誌 ELMER PRESS に掲載された論文に基づく

「水素吸入療法」と同じ血中水素飽和度を実現できる高品質モデル

水素吸入機 H2J11

圧倒的な耐久性能・長寿命・低ランニングコスト



水素発生デバイス寿命約50,000時間* 世界最高クラスのハイグレード電解セル搭載

- 一般的な電解セル寿命は500~3,000時間/ハイモデルで5,000時間といわれています。
- 毎日8時間ご利用の場合、約17年間電解セル交換が不要になる計算となります。
- *正しい使用方法でご利用頂いた場合。/メーカー保証期間は1年間となります。

厳格な第三者認証機関による適合性試験クリア EU規格・米国規格適合、安心の高品質モデル

- 医療機器・ペースメーカー等に影響を与えないようノイズ規格・静音性規格・安全性規格に適合。
- 静音性50dB以下(図書館内・閑静な住宅地レベル)
- 24時間・365日連続稼働可。



6~12ヵ月に一度の簡単メンテナンス 低ランニングコスト・低燃費

- フラッシングとクリーンバッグ交換だけの簡単メンテナンスで長寿命と超耐久性を保持。
- 15分程度のメンテナンスはご自身で実施できるのでランニングコストが軽減されます。
- 低燃費:精製水1Lで約60時間の水素発生/消費電力:140W

衛生的でストレスフリーな運用を実現 結露(水滴)防止機能搭載

- カニューレ内の結露(水滴)防止ドライヤー搭載。
- 結露(水滴)を気にすることなく、100%水素ガスを衛生的かつ安心して吸入頂けます。

科学的根拠に基づいた正しい水素吸入を実現

メーカー希望小売価格: 242万円(税込)

- 会員様むけ特別価格・特別協賛品をご用意
- 医療機関様向けリース・レンタル・分割プランもございます

無料デモ機のお貸出実施中。
ぜひお問合わせください。

株式会社 ドクターズ・マン

メディカル事業部までお問合わせください
TEL 045-905-2330
info@doctorsman.com

吸収率に着目した リポソームサプリメント LipoVit

LipoVit VC・LipoVit GSHは
点滴療法研究会
推奨サプリメントです。



ベネピオ株式会社
03-6804-6046 | support@lipovit.jp



ミトコンドリア増殖・活性化！ ダイエット(体脂肪減少、筋肉増強)、脳機能・不妊改善

医療機関専用サプリメント



科学雑誌「Nature(ネイチャー)」に論文発表したメカニズム(TGR5と呼ばれる受容体を刺激するとミトコンドリアの活性が高まる)が研究ベースで誕生した「オレアビータ」が主成分。オレアビータは強力なミトコンドリア増殖・活性化作用を持つリバウンドしにくいダイエット成分！

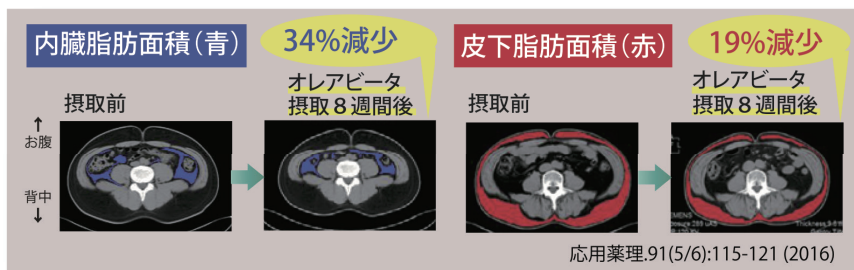


★グランプリ受賞！アジアアワード 2020！ウエイトマネジメント部門

ミトコンドリアを増殖・活性化しダイエットを助けるという新たなアプローチや、様々な研究データで、アジア太平洋地域で No.1 の原料に選出されました。

★体脂肪低減・筋肉増強！

リバウンドしにくい体づくりをサポートします。臨床試験データあります。



他、ブレインヘルスの改善、エビデンス保有。Sirt1 増加効果など。

OleaVita® PRO オレアビータ プロ



- 内容量：3粒/日×30日分(90粒)
- お召し上がり方：1日3粒を目安に、水又はぬるま湯と共に召し上がりください。
- 主要配合成分：オレアビータ(オリーブ葉抽出物)、葉酸、鉄、亜鉛、ピオチン、ビタミンB群



詳細資料のご希望、ご質問やご相談等ございましたら、TEL またはメールにてお気軽にお問合せください。

TEL : 03-3538-5811 / E-mail : info-mc@n-act.co.jp

株式会社 ニュートリション・アクト
東京都中央区銀座一丁目13番15号
担当：高橋、松倉



特別
コラム

ビタミン・ミネラル点滴の定番 『マイヤーズカクテル』

点滴療法研究会 会長 柳澤 厚生 先生

マイヤーズカクテル(Myers' Cocktail)という名前で知られるビタミン&ミネラル点滴があります。欧米の統合医療クリニックでは定番の治療で、慢性疲労、喘息、偏頭痛など様々な疾患に効果があります。マイヤーズカクテルの名称はアメリカのジョーンズ・ホプキンス大学医学部で教鞭をとっていたジョン・マイヤーズ (John A. Myers) 医師に由来します。彼は人体における微量ミネラルの代謝について研究をしている傍ら、ボルチモア市で家庭医としてクリニックを開業、患者にビタミンとミネラルの点滴をしていました。この点滴が評判になり、多くの患者が通院していました。ところが1984年にマイヤーズ医師が亡くなり、クリニックは閉鎖、残された患者は途方に暮れていました。

マイヤーズ医師の患者の一人がペンシルバニア州のアラン・ゲイビー(Allan R. Gaby)医師のクリニックを訪れました。ゲイビー医師はBaster大学教授で米国ホリスティック医学会の会長を務めていました。彼はマイヤーズ医師の点滴に興味を覚え、マイヤーズ医師のクリニックスタッフや患者から情報を得、さらに現代の科学的エビデンスに基づいて点滴処方を実現しました。

2002年、ゲイビー医師は再現した点滴処方を医学誌に発表、この点滴をマイヤーズ博士の功績を讃えて「マイヤーズカクテル」と名付けました〔1〕。ゲイビー医師は様々な学会や講演会でこれを紹介、今では世界中で「マイヤーズカクテル」が知られるようになりました。日本では2007年に点滴療法研究会が紹介しました。マイヤーズカクテルは生理食塩水にビタミンC、複合ビタミンB製剤、硫酸マグネシウム、グルコン酸カルシウムなどを組み合わせて再現できます。

マイヤーズカクテルはさまざまな疾患に有用です(表)。そして、全て科学的にあるいは臨床的な裏付けがなされています。例えば、線維筋痛症については米国立補完代替療法センターが臨床試験を行い、有用であると発表しています。気管支喘息への有用性は米国栄養学会誌に公表されています。

私自身の経験でも、偏頭痛、喘息、耳鳴り、慢性疲労などに効果的で、非常に使い回しの良い治療です。なによりも点滴に用いる薬がビタミンとミネラルだけですので、副作用の心配はまずありません。私の15年間の経験でも問題となる副作用は殆どありませんでした。



<表> マイヤーズカクテルの適応症

偏頭痛発作	全身倦怠・慢性疲労
慢性疲労症候群	線維筋痛症
アレルギー性鼻炎	気管支喘息
急性上気道炎	慢性副鼻腔炎
心不全	狭心症
慢性蕁麻疹	こむら返り・生理不順
甲状腺機能亢進症	歯周病

マイヤーズカクテルは内科や外科だけでなく、精神科、皮膚科など非常に応用範囲が広く、獣医師の会員はペットにも点滴をしています。昨年は私とアメリカのアンドリュー・ソウル先生と共同でTownsend Letter誌に新型コロナウイルス感染症の治療にビタミンCを12.5g~25gに増量したマイヤーズカクテルを提唱しました〔2〕。この点滴はまさに保険制度という枠を超えたりべラルメディスンです。

Check

マイヤーズカクテルを学びたい方にオススメ
動画サイト
「マイヤーズカクテル応用編1・2」



出典 [1] Gaby AR: Intravenous nutrient therapy: The Myers' Cocktail. Alternative Medical Review 2002;7(5):389-403
[2] Saul A and Yanagisawa A: Hospital-based intravenous vitamin C treatment for coronavirus and related illnesses. Townsend Letter 2020;442(5).



点滴療法研究会

高濃度ビタミンC点滴療法 認定医制度



認定医制度とは

点滴療法研究会では、国民に安心して高濃度ビタミンC点滴を受けていただくため、正しい知識を持った会員医師に認定医資格を設けています。現在、約500名の方が認定医資格を取得しております。
(2022年1月現在)



認定証を発行。
安心して患者様に
選ばれる医院に



当会が質を保証する認定証を発行。自院等でもご紹介いただけます。

※額縁は別売です。

クリニック検索で
上位表示されるから
集患効果アップ



当会のホームページにおけるクリニック検索でご紹介。検索時に優先的に表示されます。

受験案内 (年1回開催)

2024年12月8日(日)

■会場：東京

会員サイトの
認定医ページはこちら▶



資格

- マスターズクラブ会員であること
- ベーシックセミナーⅠの受講
- ベーシックセミナーⅡの受講
- 高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習会の受講

※注意 マスターズクラブを退会すると認定医資格はなくなります。

他にも2種類の認定医制度をご用意しています。 **オンライン開催**

キレーション療法 認定医

受講期間

2024年6月27日(木)
~7月27日(土)

オゾン療法 認定医

受講期間

2024年7月24日(水)
~8月24日(土)

2024年7月28日(日)

2024年8月25日(日)

点滴療法導入から定着への 3つのステップ

点滴療法をクリニックの定番メニューとして定着させるためには、先生やスタッフの知識・技術向上に加え、患者様への訴求強化も重要なポイント。点滴療法の導入から、患者様への認知拡大・集患まで、特に重要な3ステップと当会の提供サービスをご紹介します。是非ご活用ください！

STEP
01

正しい点滴療法を提供しよう

ベーシックセミナーを受講しましょう。

スタッフ教育サポートとして「点滴手技マニュアル」や「点滴手技動画」もオススメです。



STEP
02

患者様からの認知を高めよう

点滴療法研究会の
クリニック検索サイトに
情報を登録しましょう。



会員の
7割が
活用中!

【掲載条件】
ベーシックセミナーⅠ
受講済みで当会の会
員であること

ログインはこちら



患者様の半数以上が前もってクリニックをWEBで検索するというデータがあります。WEBの活用はクリニックを知ってもらう第一歩です。

年間検索数
8万回
以上

会員限定
無料
掲載

STEP
03

さらなる認知拡大を目指そう

詳細ページ作成で
さらに集患力を
高めましょう。(有料)

見つけて
もらいやすい!
検索上位
表示可能に



【掲載内容】
院内写真/医院の特徴/ドクターインタビュー/治療へのこだわり/患者様へのメッセージ/アクセス情報など

お申し込み
ご相談はこちら



興味をもった患者様を逃さないためにも、更に詳しい内容を掲載することは大切。院内の雰囲気や先生のこだわりを掲載することで、患者様がより安心して受診できるよう、後押しします。

制作費 45,000円(税込)

掲載費 0円 ※掲載は会員期間中に限ります。

お申込・ご登録方法など、ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

Mail : info@iv-therapy.jp TEL : 03-6277-3318

会員サービスのご案内

会員サービス一覧

様々な会員サービスをご用意しています。
ぜひ、ご利用ください。

認定医制度

- ・高濃度ビタミンC点滴療法認定医
- ・キレーション療法認定医
- ・オゾン療法認定医

学習サポート

- ・症例・論文
- ・医学情報の提供
- ・会員専用Q&A
- ・動画学習
- ・セミナー優待
- ・学習コラム配信
- ・他学会連携

国際オソモレキュラー医学会
日本オソモレキュラー医学会
国際個別化医療学会

クリニック運営サポート

- ・クリニック検索一覧掲載
- ・クリニック詳細ページ作成サービス
- ・集患サポートパック
- ・点滴療法同意書ダウンロード
- ・リンク用バナー配布
- ・オンラインショップ
- ・書籍掲載
- ・会員証発行

クリニック運営サポート スタッフ教育・集患・販促強化

点滴療法の提供体制の構築から、集患や院内販促まで！
クリニックの運営をサポートする商品・サービスをご提供

スタッフ教育

先生方や医療スタッフ向けサポート教材

手技マニュアル



【全99ページ】
点滴バッグの準備から穿刺までの一連の流れやコツを詳しくカラー写真の図解で解説。

手技動画



※USBフラッシュメモリにて頒布
点滴療法をこれから導入する先生や、スタッフの方を対象に、高濃度ビタミンC25g点滴の作成と手技の一連の流れやコツを解説。

- 穿刺のコツ・血管の選び方
- ミキシング・プライミングのコツ
- 点滴中のおこりやすいトラブル
- 点滴療法の質を上げるコツ

集患強化

クリニック検索サイト

クリニック検索掲載 & 詳細ページ作成

自院の認知拡大・集患に！



年間検索回数
80,000回以上！

当会ウェブサイトのクリニック検索一覧にて自院の情報を詳しく掲載。点滴療法を受けたい患者様への強力な訴求ツール。

院内販促

待合室などで患者様の興味と理解を喚起！

リーフレット

(+掲示用A3ポスターつき)



- 全6種 [高濃度ビタミンC点滴療法(がん治療版or美容・アンチエイジング版) / マイヤーズカクテル点滴療法 / 歯科医院における点滴療法 / グルタチオン点滴療法(美容・パーキンソン病版)]
- ゴム印・シール貼付スペースあり

院内販促動画

デジタルサイネージ

点滴療法の興味と理解を喚起！



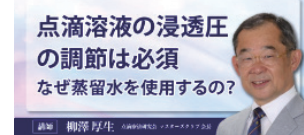
- 高濃度ビタミンC点滴療法(がん治療版)
- 高濃度ビタミンC点滴療法(アンチエイジング版)
- マイヤーズカクテル点滴療法
- 歯科医院における点滴療法
- グルタチオン点滴療法 (美容版) **NEW!**

会員限定 オンラインショップにて販売中!

学習サポート

動画学習

スタッフ教育にもオススメ!



学習サポート

症例・論文

会員サイトでは点滴治療に関する症例やエビデンスを紹介しております。

閲覧には、
ログインが
必要です。



「症例から学ぶ」 掲載例

- 「高濃度ビタミンC点滴療法 高濃度ビタミンC点滴療法が奏効した2症例」 健康増進クリニック 院長 水上 治 先生
- 「オゾン療法 線維筋痛症、気分障害、不安障害」 鎌倉元氣クリニック 院長 松村 浩道先生

「論文から学ぶ」 掲載例

- 「高濃度ビタミンC点滴療法に関連する代表的な基礎研究」
Ascorbate regulates haematopoietic stem cell function and leukaemogenesis *Nature*(2017) doi:10.1038/nature23876
- 「グルタチオン点滴療法に関連する論文」
Anti-cancer effect of pharmacologic ascorbate and its interaction with supplementary parenteral glutathione in preclinical cancer models. *Free Radic Biol Med.* 2011 Aug 1;51(3):681-7

2024年 点滴療法研究会

認定医講習会・試験

※講習会のみ受講も可能です。

点滴療法研究会では、真髄に点滴療法を学び、正しい方法で患者様に提供するために、3種類の点滴療法認定医 (Master of IVC Therapy) 制度を設け、マスターズクラブ会員医師の質の保証としています。

8/25 目 WEB 開催

オゾン療法認定医講習会/試験

受講期間：7/24 (水)~8/24 (土)

オゾン療法は採血した血液と医療用オゾンガスを混合し、再び点滴で体内に戻す点滴療法です。アンチエイジングや免疫力アップなど、様々な目的で用いられています。本講座を受講し、認定医試験に合格後、症例を提出することにより認定医取得が可能となります。

【講師】
松村 浩道 先生 (鎌倉元氣クリニック 院長)
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)

7/28 目 WEB 開催

キレーション療法認定医講習会/試験

受講期間：6/27 (木)~7/27 (土)

キレーション療法は心臓病や動脈硬化の治療、環境汚染や食品添加物に対するデトックス治療として注目されている点滴療法です。本講習の受講及び教材(動画付)にて事前学習することにより認定試験の受験資格が得られます。

【講師】
上符 正志 先生 (銀座上符メディカルクリニック 院長)
澤登 雅一 先生 (三番町できげんクリニック 院長)

12/8 目 会場 (東京)

高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習会/試験

本講習会でビタミンCの基礎知識、リオルダンIVCプロトコル、他の併用療法など大切な基本・応用を学びます。
※受験資格: 点滴療法研究会マスターズクラブ会員
ベーシックセミナーIIの受講
高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習会受講

【講師】
石神 昭人 先生 (東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長)
澤登 雅一 先生 (三番町できげんクリニック 院長)
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
前田 陽子 先生 (三番町できげんクリニック)

実践セミナー年間予定

各種実践セミナー

ベーシックセミナー I

点滴の基本「高濃度ビタミンC点滴療法」「グルタチオン点滴」「マイヤーズカクテル」など点滴療法の具体的な処方と注意点を詳しく解説。セミナー受講後、点滴療法研究会マスターズクラブへご入会いただきますと、入会特典として「Q&Aサポート窓口」にて、点滴療法を導入できるようになるまでサポートします。

マスターズクラブ会員限定、WEB受講が可能です

2/25 目 東京会場

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
熊谷 和浩 先生 (フジテレビ湾岸スタジオビル診療所 院長)

4/21 目 AM 福岡会場 ※会場開催のみ

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
喜多村 邦弘 先生 (喜多村クリニック 院長)

スペシャルベーシックセミナー

7/7 目 東京会場

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
松村 浩道 先生 (鎌倉元氣クリニック 院長)
内藤 裕二 先生 (京都府立医科大学大学院医学研究科 生体免疫栄養学講座 教授)

10/13 目 東京会場

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
松村 浩道 先生 (鎌倉元氣クリニック 院長)

ベーシックセミナー II

Detox・IGG、栄養療法、プラセンタ、にんにく注射、αリポ酸、幹細胞培養上清、エクソソーム、NMNなど、最新の点滴療法に関連する栄養療法と共に深く実践的に学びます。また、自費診療を成功するためにぜひ実践してほしい環境作りの内容や、点滴療法のメニューや料金設定、集患、経営の秘訣、スタッフ教育など、現場でなければわからない苦労や問題点、工夫や解決法など自費診療クリニック運営に役立つ情報満載のプログラムです。

マスターズクラブ会員限定、WEB受講が可能です

5/26 目 東京会場

10/14 目 祝 東京会場

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
上符 正志 先生 (銀座上符メディカルクリニック 院長)
前田 陽子 先生 (三番町できげんクリニック)

※2024年1月現在の情報です。内容・開催方法は変更になる可能性がありますので、詳細については随時ウェブサイトにてご確認ください。

点滴療法研究会 特別セミナー

1/28 目 東京会場

<新春ワークショップセミナー>

現場から学ぶ点滴療法の技

点滴療法研究会マスターズクラブ会員の医師、歯科医師、獣医師の先生、6名による臨床現場での症例や治療法などの「技」をご紹介します。今回は、月経血幹細胞の点滴、水素点滴、NAD+点滴、骨髄・歯髄・脂肪による幹細胞培養上清液、どうぶつへの高濃度ビタミンC点滴とマイヤーズカクテル点滴など盛り沢山の内容で開催します。

【講師】
辻 直樹 先生 (社クリニック 理事長/
一般社団法人 臨床水素治療研究会 代表理事)
宮川 路子 先生 (法政大学教授/下北沢西口クリニック 院長)
伊沢 博美 先生 (神宮外苑WomanLifeClinic 院長)
松澤 宗範 先生 (青山メディカルクリニック 院長)
内藤 洋介 先生 (Lagform Tokyo表参道FMクリニック 院長)
田中 芳生 先生 (いすみ動物病院 院長)

3/17 目 東京会場

<春の特別セミナー>

最強のアンチエイジング医学 2024 導入と実践

幹細胞培養上清、エクソソーム、NMN、NAD+、そして今話題のヒト臍帯ウォートンゼリー(WJ)幹細胞由来エクソソームや、アンチエイジングには重要なミトコンドリアの改善法など、最新のアンチエイジングに関する実践的な内容をご講演いただきます。基調講演は、東京医科大学の特任教授、落谷孝広先生が、世界の最新のエクソソーム研究の現状をお話しされます。各専門分野のエキスパートによる豪華講師陣による、充実のセミナーです。

【講師】
落谷 孝広 先生 (東京医科大学医学総合研究所 未来医療研究センター 分子細胞治療研究部門 特任教授)
姫野 友美 先生 (ひめのともみクリニック 院長)
青木 竜弥 先生 (銀座予防医療クリニック 院長)
野村 紘史 先生 (N2クリニック ホテル椿山荘東京院 院長)
陰山 泰成 先生 (東海大学医学部客員教授 / 高輪クリニックグループ代表)

9/29 目 東京会場にてセミナー開催予定 ※詳しい内容は決まり次第、ウェブサイトにてお知らせいたします。

【会員限定】点滴療法の基本実技講習会 (入門編)

「もうはずさない! 血管確保の実際」

鎌倉元氣クリニックにて、高濃度ビタミンC点滴25gの前準備・セッティング・穿刺・抜針までの基本手技について学ぶハンズオン講習会です。

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
山口 かおる 師長 (鎌倉元氣クリニック 看護師長)

6/16 目・12/1 目

神奈川県鎌倉市

地方フォーラム

マスターズクラブ会員の先生方が臨床現場での症例や治療法などを発表していただきます。

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
青木 優美 先生 (青木優美クリニック 院長)
赤木 純児 先生 (医療法人 全健会 理事長)
友枝 亮先生 (友枝歯科・矯正歯科クリニック博多駅前 総院長)
伊藤 信久 先生 (グレースメディカルクリニック 院長)

4/21 目 PM

九州フォーラム (福岡)

歯科診療で導入したい 点滴療法・栄養療法の実際

歯科治療における点滴療法の必要性と可能性、明日から使えるノウハウを具体的に解説し、現場への落とし込み「導入」と「定着」を目的とします。また、栄養療法・点滴療法のコンビネーションによるメリットについても解説します。

【講師】
森永 宏喜 先生 (森永歯科医院 院長)
加藤 通子 先生 (医療法人明新会理事長 かつう歯科医院 院長)
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)

6/16 目 東京会場

11/17 目 東京会場

どうぶつへの点滴療法・栄養療法を臨床から学ぶ

どうぶつへの栄養点滴他、CBDオイルの基礎や治療法、予防や治療に活用できるオーソモレキュラー療法を詳しく解説します。

【講師】
廣田 順子 先生 (アリスどうぶつクリニック 院長)

通年開催 (WEB)

2023年点滴療法研究会 協賛企業のご紹介



アークレイマーケティング株式会社

ポケットケムVCは自己血糖測定器と全く同じ手順で簡単に血中のビタミンC相当値を得ることが可能です。 TEL.050-5527-7700



AIDANPRODUCTS

株式会社アイダンプロダクツジャパン

柳澤先生ご監修のミトコンドリア活性サプリMiTO ATPの取扱いをしております。 TEL.03-6811-1318



Wismettacフーズ株式会社 ナチュメдика事業グループ

ナチュメдикаサプリメントは科学的根拠・機能性にこだわり、柳澤先生監修のIVCシリーズ等がございます。 TEL.03-6870-2006



株式会社ウェルハート

海外の医薬品や医療機器の輸入に係る手続きの代行、調達、輸送時の商品管理等のサポートを行います。 TEL.03-6812-5501



オーガニックサイエンス株式会社

日本のマグネシウム研究をリードし、100%天然成分に拘ったマグバームやマググリボ等の開発・製造を行う。 TEL.0800-222-0986



有限会社クマック

10万種類の物質測定で最も自然免疫活性が高いぬか床由来の物質を発見。東京大学病院取扱中。代理店募集! TEL.087-862-4778



有限会社クレアラボジャパン

米国では50年以上も医師に活用されている、多菌種混合のプロバイオティクスサプリメントを提供しております。 TEL.045-534-9518



株式会社アルガルバイオ

アルガルバイオは、東京大学における20年以上の研究成果を基に、新しい機能性クロレラを選出しました。 TEL.04-7138-6207

AOB MEDICAL

株式会社AOBメディカル

1. 幹細胞培養上清の販売 2. メディカル・コンジェルジュ 3. 美容医療 4. 化粧品、美容機器などの販売 TEL.03-6427-7785



株式会社 玄米酵素

1971年創業。玄米を麹菌で発酵した自然派サプリ。ビタミン、ミネラル、食物繊維、抗酸化物質が豊富。 TEL.011-736-2345



アンブロシア株式会社

各種検査(遅延型フードアレルギー/重金属/有機酸・環境汚染物質/副腎ストレス/SIBO/ビタミンD/ホルモン) TEL.044-299-7946



NADクリニック

NADクリニックのNAD+関連製品の販売
■NAD+点滴 ■NAD+サプリメント
TEL.03-4214-2020



医療法人社団 THE CLINIC Institute AZACLI麻布クリニック

最先端の再生医療に特化したエイジング治療クリニック「AZACLI」に併設された細胞加工施設です。



株式会社医道メディカル

■臍帯由来エクソソーム関連商品開発、販売事業
■創業事業 ■検査受託事業 ■有用微生物サプリメント TEL.03-6266-0071



一般社団法人NMN医療研究会

NMN点滴研究用試薬
TEL.03-6263-0152



株式会社サルベストールジャパン

がん治療を目的とした医療機関向けサプリメント・サルベストールプラチナム2000を販売。 TEL.03-6450-2406



株式会社イムダイン

栄養補助食品の製造、販売。水素・酵素・声のサプリメントなどの展示。 TEL.03-5467-6284

メディカルサプリメントの
リーディングカンパニー



株式会社MSS

医科向けシェアNo.1のMSSサプリメントは、「医師の使用に耐える性能と品質」をお約束します。 TEL.03-5366-0208



株式会社 すかい21

瞬時にわかる計測システム「Scanアナライザー」や「MDケイ素」など測定からソリューションまで幅広く取扱い。 TEL.098-887-2012



株式会社スピック

Lypo-Cは、微小な脂質カプセルである「リポソーム」に有用成分を閉じ込めて、からだのすみずみまで適切に届けます。 TEL.0467-24-1045

NEO AGING

株式会社DORIS

「NEO AGING」これまでの老化対策“抗老化/アンチエイジング”に新たなテクノロジーが加わりました。 TEL.03-3564-1550



株式会社ビーアンドエス・コーポレーション

◆医師がすすめる乳酸菌サプリ『アルベックス』
◆認知機能改善サプリ『プラスマローゲン』 TEL.03-3288-0068



株式会社SOPHIA

ポストバイオティクスという乳酸菌やビフィズス菌の代謝産物の腸活サプリ。腸と免疫のサポートをします。 TEL.03-6276-1551



一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会

正しい栄養療法の理解と認知を広げるためにWebメディアで情報を発信するとともにセミナーを開催。 TEL.03-6821-1461



株式会社First・Health・Japan

USBioTek社/NutriPATH日本総代理店、海外調剤薬局配合剤、G6PD迅速定量検査、ビタミンD迅速検査等 TEL.0463-20-9070



第一産業株式会社

九州大学・昭和大学歯学部・日本歯科大学との共同研究を基に開発した、口腔内専用のパワーフコイダンマウスジェルC G TEL.06-6131-0370



日本ダグラスラボラトリーズ株式会社

アメリカ製医療用サプリメント輸入代理店。1本からの卸、小ロットOEM、オリジナル商品製造、分包装など。 TEL.03-5530-2212



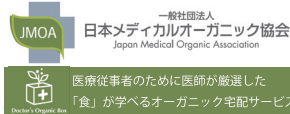
株式会社分子生理化学研究所

全国約5,000の医療機関導入の医療機関向けサプリメントメーカーです。医師が選ぶサプリNo.1を獲得。 TEL.03-6233-9008



共同購入VC受注代行センター (有限会社ディスインターナショナル)

Mylan社ビタミンC製剤・Woerwag社αリポ酸製剤の受注窓口として、受注業務を代行しています。 TEL.03-6300-0152



一般社団法人日本メディカルオーガニック協会

毎月テーマに沿った「食・栄養に関する医学情報誌」と厳選した「オーガニック食品セット」をお届け。 TEL.03-6277-3011



ベネビオ株式会社

独自のリポソーム技術を用いた国内製造のリポソームサプリメントシリーズ「リポビット」を販売しています。 TEL.03-6804-6046



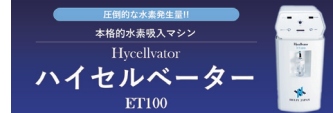
株式会社デトックス

治療製剤とサプリメントを提供しています。検査はがん、自閉症、精神疾患、認知症、免疫関連と幅広くカバー。 TEL.03-5876-4511



株式会社 ニュートリション・アクト

医療機関専用サプリメントを各種取扱。アンチエイジングのためのDNA保護・修復、ミトコンドリア増殖・活性化のため。 TEL.03-3538-5811



株式会社ヘリックスジャパン

水素・酸素の混合ガス吸入機「ハイセルベーター」。業界最高水準の水素発生量1,200ml/分です。 TEL.03-3234-8000



東栄新薬株式会社

露地栽培アガリクスKA21の研究開発会社。免疫、育毛、口腔・腔・腸カンジダ対策サプリの無料サンプル進呈中。 TEL.0422-26-7310



ネスレ日本株式会社

総合食品メーカー。Pure社のサプリメント等、消費者の健康に貢献する商品を展開。 TEL.03-5769-6228



株式会社LiNK

ヨウ素製剤に関する臨床・研究の情報収集、他学会・団体との交流・親交を深め知識向上を目的とした講習会・学術活動を実施。 TEL.03-6417-1920



株式会社ドクターズ・マン

慶大医学部が推進する「水素吸入療法」と同等の血中水素飽和度2.0%になることが科学的に証明された水素吸入機 TEL.045-905-2330



株式会社BARNUM

美容機器(ニードルレスインジェクター REIZ)の製造・販売。美容器材、ヘルスケア製品(グラフェンジェル)の販売。 TEL.03-6773-7499



一般社団法人 臨床水素治療研究会

水素点滴を用いた各種疾病の治療や予防効果の調査研究、水素治療における専門的な知識向上を目的としています。 TEL.03-3221-6313

点滴療法研究会推奨の点滴製剤・試薬のご案内

ビタミンC

高濃度ビタミンC点滴

マイラン社

高濃度ビタミンC点滴（10g以上）には、防腐剤が入っていない安全なビタミンC製剤が必要です。国産の製剤は、防腐剤が入っているため適しません。また、ビタミンCは温度変化によって不安定になるため、製造工場からクリニックまで2~8℃の冷蔵保管が義務づけられています。当会では、冷蔵空輸にて日本に出荷される安全なマイラン社製のビタミンC製剤を推奨しています。

資料請求は
コチラ



NMN

完全β-NMN点滴

一般社団法人 NMN医療研究会

NMNには、分子構造の異なるα-NMNとβ-NMNの2種類が存在し、人体で生成され、有益な効果を持つのはβ-NMNのみとされています。Bio Umbrella社のNMN製剤は、完全殺菌環境を作り出すために製造毎にオゾンガスを使用した殺菌を行い、粉塵・細菌が存在しない環境で製造し、保存液も一切使用していない純粋なβ-NMN製剤です。

※原料元：ミライラボバイオサイエンス（株）

※試薬でのご提供

資料請求は
コチラ



エクソソーム

M2P-Exosome™点滴

AZACLI

エクソソームに内包されている無数のマイクロRNAによる細胞老化の修復や慢性疾患等のリスク低減について、大学等研究機関で研究が進んでいます。

当会では先生方の研究に使っていただきやすい試薬として提供しております。

※試薬でのご提供

お問い合わせは
コチラ



グルタチオン

グルタチオン点滴

TAI YU CHEMICAL & PHARMACEUTICAL社

昨今、国産グルタチオン製剤の流通が制限されている状況から、安全な日本製原料を使用した台湾製グルタチオン製剤をご紹介します。製薬会社である、TAI YU CHEMICAL & PHARMACEUTICAL社製のグルタチオン製剤は、台湾で薬として国に認可されています。

※輸入代行：AOB MEDICAL社

※ご購入は、AOB MEDICALのウェブサイトより、会員登録（無料）が必要です。

ご購入は
コチラ



NAD+

NAD+点滴

NAD CLINIC

ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド（NAD+）は、抗老化において主要な重要性を持つとされており、これまでにコネキシン43（様々な組織）およびP2X7ゲートドチャネル（神経細胞）を介して細胞内に直接入ることが示されており、点滴でNAD+直接補充しNAD+レベルを上げていくことでエネルギーの増加や代謝改善、認知機能向上、長寿やアンチエイジングなど効果として期待されています。

※試薬でのご提供

お問い合わせは
コチラ



価格・最低発注個数などの詳細はこちらから ▶



会報誌の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

【発行元】点滴療法研究会 【発行月】2024.1

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-23-13 アルカイビル4F/Tel: 03-6277-3318/E-mail: info@iv-therapy.jp